

かながわ 労福協

1

神奈川県労働者福祉協議会

2023

「三溪園」

横浜の実業家である原三溪が、造り上げた日本庭園です。一般に公開していた外苑と三溪が私邸としていた内苑の2つの庭園からなり、歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されています。

Contents

神奈川県労福協会長・中央労福協会長の新年ご挨拶

「政策制度ならびに支援協力の要請」に対する回答書受理

関東学院大学「連合寄付講座」の講師として労福協・中央労金・こくみん共済coopが講義
フードバンク通信「お米一合運動」展開中

中央労金「セカンドライフWebセミナー開催」

こくみん共済coop「日本の労働運動・協同組合運動の原点を学ぶ『労済運動体験学習』を開催」

地域労福協だより（川崎労福協・横浜・川崎協働行動・小田原・足柄地域労福協）

おいしく食べていつも元気に“菜の花”

インフォメーション／図書カードが当たる“8個のまちがいさがし”

神奈川ぶらり散歩“三溪園エリア”

タオル一本運動

寄贈先から多くのお礼状が届きました！



タオルを寄贈する吉坂会長



vol.207

かながわライフサポートセンター「かながわ生活相談ネット」 <http://www.lifesupport-kanagawa.net>

介護や生活全般に関する無料電話相談をお受けしています。一人で悩む前に、まずお電話を！

☎ 0120-786-579 月～土曜日 午前10:00～午後6:00（祝日および年末・年始は休み）

【ホームページからも相談ができます】

かながわライフサポートセンター

検索



神奈川県労働者福祉協議会
会長 吉坂 義正

「助け合える」社会づくりをめざして

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚誼にあずかり、心からお礼を申し上げます。

神奈川県労福協は昨年50周年を迎え、本年は新たな半世紀の展望を切り拓くスタート年となります。結成当時の「福祉はひとつ」という原点を忘れずに、2023年は「労働者自主福祉運動の推進」、「フードバンク活動支援」、「タオール本運動」、「介護無料相談」など、特徴ある活動を皆さまのご支援を得ながら繰り広げてまいります。

私たちを取り巻く環境は、2020年以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により国民生活は一変するとともに、今なお先行き不透明な状況が続く、コロナ禍以前から抱えていた日本社会の脆弱性が次々と浮き彫りになっています。

一方、地球環境においては気候変動による自然災害が、毎年、猛威を振るっています。

また、人生100年時代に必要な「老後資金」などの問題に対して、将来を見据えて今から進むべき方向性を見

出すことが求められています。

世界に目を向けるとロシア軍によるウクライナへの侵略や一連の非人道的な行為を私たちは座視することはできません。私たちはロシアの軍の即時の作戦中止・撤退と核兵器反対・恒久平和を強く求めてまいります。

激動する社会の中で、私たちの暮らしはエネルギーの高騰や円安の進行に加えて、社会的な孤立や分断、格差や貧困が拡大しています。いまこそ労働団体の力を結集して、困った人が支援を求めやすい社会づくりや、周りに困った人がいたらすぐに手を差し伸べられる地域づくりが期待されています。

神奈川県労福協は、これからも結成当時の「福祉はひとつ」の想いを大切に、労働運動と労働者福祉事業をはじめ、協同組合とのネットワークをつなげる役割を果たし、それぞれの多様性を認め合いながら「助けて」と言える社会、そして「助け合える」社会づくりをめざして活動を進めてまいります。

今年1年、役職員一同頑張って活動させていただきまします。皆様方の絶大なるご支援をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

2023年 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会・国民生活への影響は現在も続いています。世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による平和問題や物価上昇、気候危機など、先行き不透明な状況に置かれています。

一人ひとりが意識を変え、小さなことでも行動に移していくことが必要です。「誰ひとり取り残さない」包摂的

で持続可能な社会を実現するために、取り組みを進めていきましょう。

私たちは今、目まぐるしく状況が変化する社会の中で、様々な課題への対応に迫られています。これまでの運動で培ってきた経験や、助け合い、支えあいの精神を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてポストコロナ社会を見据えた運動に取り組んでいかなければなりません。「2030年ビジョン」の実現にむけて、労福協、労働団体、福祉事業団体がこれまで以上に連携を深め、一丸となって取り組みを進めていきましょう。



謹んで新年のお祝いを申し上げます



神奈川県労働者福祉協議会

【加盟団体】

連合神奈川

中央労働金庫神奈川県本部

こくみん共済COO 神奈川推進本部

ワークピア横浜

神奈川県労働福祉協会

神奈川県労働文化センター

エル・ビー・エー

神奈川県地域労働文化事業団

神奈川県生活協同組合連合会

横浜労福協

川崎労福協

湘南地域労福協

相模原地域労福協

西湘地域労福協

小田原・足柄地域労福協

三浦半島地域労福協

県中央地域労福協

厚木愛甲地域労福協

(団体名は略称)

神奈川県 労福協

多様化・深刻化する福祉や生活の課題解決に向けて ～「政策制度ならびに支援協力の要請」に対する回答書受理～



回答書を受け取る吉坂会長（右）

昨年8月26日に神奈川県に提出した「2023年度に向けた政策制度ならびに支援協力の要請」に対する回答書を11月29日に受理しました。

冒頭、神奈川県の河鍋産業労働局長より「要請された意見・要望については真摯に向き合い、労働者の発展と福祉の増進に取り組んでいきたい」との挨拶を受けました。

回答書を受理した吉坂会長は「労働福祉団体として働く者へのサポートをしっかりと行っていきたい。また、フー

ドバンク活動にも力を入れており、生活困窮者・子ども食堂等への支援にも取り組んでいく。今後も労働福祉運動を通じて行政との連携を図り、今のコロナ禍の大変な時期を乗り越えたい」と挨拶を返しました。

神奈川県労福協は、多様化・深刻化する労働者の福祉課題や暮らしに関わる生活課題の解決に向けて、神奈川県の協力を得ながら積極的に取り組みを進めていきます。



回答書受領式の様子

神奈川県 労福協

将来に向けた「ライフデザイン(人生設計)」を考えよう ～ 関東学院大学「連合寄付講座」の講師として労福協・中央労金・こくみん共済coopが講義～



中央労金 小柳さん

12月1日に関東学院大学において連合神奈川寄付講座「働き方と労働組合」の1単位として、神奈川県労福協・中央労働金庫・こくみん共済coopが講師として参加し、対面形式で約40名の学生に講義を行いました。

冒頭、「労働者自主福祉運動」の必要性について、中央労働金庫・こくみん共済coop誕生の背景や目的、奨学金問題等に触れながら、福祉団体の活動や役割を説明しました。

〈ろうきん〉からは「将来のライフイベント」「身近なマネートラブル」について講義を行い、人生の三大資金の準備、クレジットカード支払いの注意点を中心に講義

を行いました。

こくみん共済coopからは「身近なリスクと保障」について、生活に重大な影響を与えるリスクや備えておくべき保障を中心に講義を行いました。

学生からは、「奨学金を利用して

こくみん共済coop
小暮さん

いるので、延滞の危険性について知るなど、新たな発見があった。困ったら一人で抱え込まないことが大事だと理解できた。」「自転車損害賠償責任保険等の加入義務化は知らなかった。」などの声が聞かれました。

最後に、今後の社会における「労働者自主福祉運動を通じた共助」の重要性について伝え、本講義は終了しました。

フードバンク かながわ通信



川崎市民 働く者のフェスタ

フードバンクかながわは、11月末の累計で、寄贈が232.8ト（前年同月比150%）食品提供が242.0ト（前年同月比152%）と、順調に活動が広がっています。

10月以降、連合神奈川、横浜労福協、JP労組、川崎労福協、アンリツ労働組合、自治労神奈川本部など、多くの組織で取り組んでいただきました。

神奈川県労福協では、結成50周年記念事業として「マッチングギフト」を展開しています。是非、この機会に皆様方のご協力をお願いいたします。

「お米一合運動」展開中

～ さまざまな活動で、食品を提供 ～



県労協からマッチングギフトで寄附された「お米」

皆様から寄贈された食品とカンパ金を基に、県労福協から「お米」を寄贈

10月から12月の3か月間で、フードドライブで結集された食品量(1,715.11kg)やカンパ金額(885,102円)を基準にマッチングギフトとして、県労福協からフードバンクかながわに「2,200kg」のお米を寄附しました。

URL <http://www.fb-kanagawa.com>
Facebook で最新ニュースをアップしています。

	マッチングギフトで提供したお米
10月分	790kg
11月分	510kg
12月分	900kg
3か月合計	2,200kg

フードバンクかながわ
食品ロス削減「コースターコンテスト」を実施中!!

応募期間：2023年1月1日～2月28日

応募要領・応募用紙は、神奈川県労福協(kanagawarofukukyo.com)、フードバンクかながわ(fb-kanagawa.com)のホームページをご参照ください。 昨年度小学生部門 最優秀賞 岡 さんの作品



中央労金

60代に必要なお金の基礎をまとめて学ぶ！

～ セカンドライフWebセミナー開催 ～



(左より) 中央労働金庫 柳澤次長
(右) マネージャー 渡辺講師

11月26日(土)に外部講師を招いた神奈川県セカンドライフWebセミナーを開催しました。本セミナーはご好評につき今年2回目の企画となりましたが、これから退職を迎えられる50代後半の方を中心に306名の方にご参加いただき、前回は上回る申込となりました。

第1部では、各種年金制度や請求方法、雇用・健康保険や、所得・住民税などの手続き方法など、退職前にやることを中心に説明いただきました。第2部では、退職後の資産活用術として、豊かなセカンドライフを迎えるために必要な「預金型」「保険型」「投資型」の特徴を駆使した効果的な資産運用について説明いただきました。

セミナー参加者からのアンケートからは「セカンドライフの具体的な対策を聞くことができて、とても参考になった。」「定年延長を控えているため、資産運用について真剣に考えるきっかけになった。」「早めに退職後の資金計画を立てることが重要だと感じた。」などの声が寄せられ、セミナー後の個別相談を希望されるお客様も多く、資産運用に対する関心が高い方が多くいることが伺

えました。

〈中央ろうきん〉ではオンラインセミナーや、各労働組合でのセミナー・個別相談会など、ご要望に合わせた開催を承っておりますので、ぜひ神奈川県内の〈中央ろうきん〉各支店にご相談ください。より豊かなセカンドライフを迎えるために、退職前の出来るだけ早いタイミングで準備を検討しましょう。

中央ろうきん
LINE 公式アカウント

お役立ち情報やキャンペーン情報などをお届けしています！

ぜひ「お友だち登録」をお願いします！

二次元コードから

LINEの友だち追加画面で下記「二次元コード」を読み取り、追加ボタンをタップして登録。

or

友だち検索から

LINEアプリホーム画面の「検索窓」に、「中央ろうきん」と入力して検索し、追加ボタンをタップして登録。

【アカウント名】
中央ろうきん

or

ID検索から

LINEの友だち追加画面で「検索」を選択のうえ「@chuorokin」と入力して検索し、追加ボタンをタップして登録。

【ID】
@chuorokin

お問い合わせ先〈中央ろうきん〉お客様相談デスク

TEL: 0120-86-6956 (平日9時～18時)

2022年12月1日現在

こくみん共済
coop

日本の労働運動・協同組合運動の原点を学ぶ「労済運動体験学習」を開催！

～ 関東大震災から100年の取り組みに向けて ～



賀川豊彦 (1888～1960)

2022年11月から12月にかけて、3年ぶりに「労済運動体験学習」を開催し、25団体27名の方々に参加いただきました(開催地:兵庫県神戸市・淡路市)。

「協同組合の父」といわれる賀川豊彦氏が活動していた神戸市にある賀川豊彦記念館では、西義人顧問より基調講演をいただきました。大正時代から第二次世界大戦後にかけて、賀川豊彦氏が貧困解決の仕組みづくりに献身的に活動した結果、協同組合や共済、ボランティアなど、現代社会の組織や活動の多くは、日本の労働運動や協同組合運動が原点になっていることを学びました。

【参加者の声】.....

- ・みんなで支えあう必要性は今後も不変なもの。
- ・自組織の組合員のためになるよう奔走し、奉仕の心を磨いていきたい。
- ・労働運動として取り組まなければ、その恩恵を受けることはできない。

次に1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の関連施設として、人と防災未来センターと、震源地となった淡路島にある北淡震災記念公園を訪問しました。実際映像や北淡震災記念公園の米山正幸代表取締役による被災体験講話など、防災・減災の重要性を再認識する機会となりました。

2023年9月1日は関東大震災から100年です。今回の体験学習を振り返り、現代であればどのような被害が想定されるか、防災・減災に向けた備えや、自然災害に対する住まいの保障を点検・見直しをしてみたいかがでしょうか。

【参加者の声】.....

- ・公助・自助の限界をカバーする仕組みとして、共助・共済は非常に有効だと思いました。
- ・災害発生後、日常生活を取り戻すために必要な保障をしっかりと周知し、無保障者をなくしていきたい。



人と防災未来センター

こくみん共済 coop 地盤診断サービス

▼ 診断はこちら

こくみん共済 coop 地盤診断

当会ホームページのサイト内検索「地盤診断」からもアクセスできます。



淡路島・記念写真



北淡震災記念公園

川崎労福協

『市民と働く者のフェスタ2022』
を盛大に開催！

～市民と家族との触れ合う一日を提供～

地域
労福協
だより五十嵐美樹先生による
サイエンスショー

ト)で実施しました。

当日は、晴天にもめぐまれ延べ7300名のご来場をいただき盛大に開催することが出来ました。市内障がい者施設への寄贈活動の浄財となるチャリティ金も26万円を超える大きな協力をいただきました。

会館内大ホールでは、恒例の「ハローキティの子どもショー」、五十嵐美樹先生による「サイエンスショー」をはじめ、公園では、フードドライブ、似顔絵缶バッジ、環境局による分別学習、キティのゲーム、サンリオ新幹線、ミニボウリング、会館内では、科学工作、パラアートのCOLORS展（絵画展）、地区ブロック対抗戦はパラスポーツの「ボッチャ」「ラダーゲッター」を市民への紹介を含めて行いました。



サンリオ新幹線で楽しむ子供達

横浜・川崎
労福協横浜－川崎労福協 協働行動
「チャリティーボッチャ」

11月26日（土）横浜と川崎労福協の協働行動として「ボッチャ」を横浜市教育会館で開催しました。これまで主に「クリーン活動」を行っていましたが新たな試みとしてパラスポーツを体験することとしました。

当日は、「ボッチャ」を広める活動をしている「ヨコハマインクルボッチャ・ラボ」代表理事 佐塚丈彦氏よりレクチャーを受けました。ラボは「子どもから高



横浜・川崎全員集合

齢者まで、障害のあるなしを問わず楽しめるスポーツを通して共生社会の実現を」を主旨に活動を続けられています。

競技は横浜と川崎8チームによるトーナメントを実施し大いに盛り上がりしました。ボッチャ競技の理解を深めるとともに、周りに広めていこうという気持ちになりました。

会場では、県労福協から市川事務局長と天野事務局次長にきていただきフードドライブも実施し、参加者から食品の提供を受けました。



ねらいを定めて投球

小田原・足柄
地域労福協11月19日（土）「勤労者ソフトボール大会」、
12月9日（金）「福祉セミナー」を開催！！

2019年は台風により、2020年・2021年はコロナ禍により中止を余儀なくされ、4年ぶりの開催となった「勤労者ソフトボール大会」ですが、加盟組織10労組より118名もの多くのご参加をいただくことができました。酒匂川河川敷ソフトボール場を2グラウンド使用し、1日を通してトーナメント形式（裏トーナメントあり）で試合を行いました。



優勝を目指し、火花を散らす各チーム

各チームとも優勝を狙うその眼差しは真剣そのもので、大いに盛り上がりを見せていました。（優勝：東

電労組、準優勝：小田原ガス労組A、裏優勝：ケイミュー労組）

また、地域労福協役員を対象に開催した「福祉セミナー」では、中央労福協講師団の高橋均先生を講師に迎え「労働運動と労働者自主福祉運動 その理念と歴史を振り返る」をテーマにご講演をいただき、労働金庫や全労済（こくみん共済coop）の誕生、労働組合・労福協との関係性について、改めて認識を深めることができ、大変貴重な機会となりました。



興味深くセミナーを受ける役員



おいしく食べて、いつも元気に

菜の花 (なばな、アブラナ科)



菜の花は「なばな」とも呼ばれ、アブラナ科の若いつぼみや穂先を摘み取って食用にしている。独特の香りや苦みが特徴。春のイメージがあるが、食用のものは花のつぼみと若葉、茎を味わうため、まだ寒い時期が最盛期。千葉県や茨城県、四国を中心に栽培されている。観賞用の菜の花と食用の菜の花は、元々は同じものだが、食用は食べやすいようアクを少なくしたり、茎を柔らかくしたりなど品種改良されたもの。

◎まずは選ぶ

選ぶ際は、葉と茎、つぼみ、切り口をチェック。つぼみが開いてなく、揃っているもの茎の切り口がみずみずしいもの葉や茎が柔らかく色鮮やかなものを選ぶ。鮮度が落ちたものは、乾燥して切り口が白っぽくなり空洞ができる。花が開いたものは苦味が強くなって食感も悪くなる。

◎上手に保存

菜の花は成長速度が速く、置いておくとつぼみが開いて品質低下に繋がる。購入したらなるべく早く食べきる。保存する際は冷蔵保存、冷凍保存がおすすめ。菜の花は柔らかく、しなびやすいので乾燥を防いで保存するのがポイント。濡らしたキッチンペーパーや新聞紙に包み、さらにポリ袋に入れ、野菜室に立てて保存する。冷蔵室より野菜室の方が保存に適する。

冷凍保存する際は菜の花を固めに茹で、水気をしっかり絞る。ラップに包み、チャック付き冷凍袋に平ら

になるように入れ、冷凍庫で保存する。食べやすいようカットして保存する方法もある。解凍する際は凍ったまま調理するか、冷蔵庫で解凍して使用する。

◎すごい力だ、菜の花

日本人に不足しがちな食物繊維だが、菜の花は100gあたり4.2g含まれ、1日の食物繊維目標量のうち、約1/5量にあたる。食物繊維はごぼうやれんこんなど、噛みごたえがある野菜のイメージがあるが、菜の花なら手軽。ビタミンCも豊富に含まれる。一般的に売られているのは一束200g程度。半分で、一日の推奨量すべてを補うことができる。ただし茹でると半分に減ってしまうので、茹ですぎない、水にさらさず自然に冷ますなど調理の工夫も大切。またビタミンAやE、特に女性に重要な葉酸、鉄なども補える。



会 議



&

宴 会



こ こ で 完 結

ワークピア横浜の貸し会議室

ご相談・ご予約は電話またはメールから (予約受付時間 9:00~17:15 (5/2~5/5、年末年始休館))

TEL: 045-664-5252/FAX: 045-664-6743

〒231-0023 横浜市中区山下町24-1

メール: wpia.info@workpia.or.jp

山下公園、県民ホールとなり 日本大通り駅から徒歩 5分

インフォメーション

知らなかった、悪気はなかったでは済まされない! 「LGBTQ+の基礎知識と事例で学ぶ! SOGIハラ防止対策講座」

2022年4月に労働施策総合推進法「いわゆるパワハラ防止法」が全面施行となり全ての職場で法令を踏まえた対応が義務付けられました。「パワハラ防止法」指針において、SOGIハラスメントやアウティングもパワハラである事が明示され適切な対応や必要な体制の整備が求められます。

本講座では、ハラスメントの専門家をお招きし、事例(判例)に基づき分かり易く解説するとともに講義終了後もオンデマンド配信で繰り返し学習可能な為、労務管理上必須のハラスメント対策を正しく学び、ご理解を深めて頂けます。是非ご参加下さい。

【受講方法】 Zoomライブ講義 及びオンデマンド配信
 【受講料】 4,000円(税込)
 【日程】 Zoomウェビナーライブ講義:
 令和5年2月16日(木) 14:00～16:00(2時間)
 オンデマンド視聴期間:
 令和5年2月18日(土)～3月19日(日)迄(1か月)
 【講師】 旬報法律事務所 弁護士 新村 響子 先生
 【申込】 (公財)神奈川県労働福祉協会
 【電話】 045-633-5410
 ※詳しくは、ホームページを御覧下さい。



新村先生

詳しくはホームページをご覧ください。

神奈川県労働福祉協会

検索

奨学金・介護などの相談を受付しています

～無料電話相談 かながわ生活相談ネット～

☎ 0120-786-579

月～土曜 10:00～18:00 ※日曜日、祝日、年末・年始は休業です。



～神奈川県労働者福祉協議会からのお知らせ～

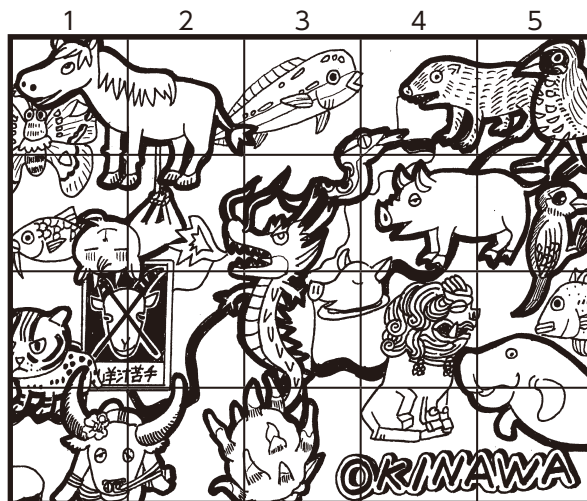
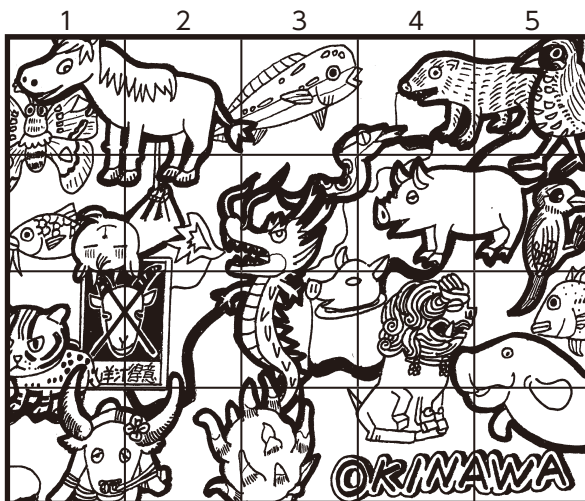
かながわ
労働者 得割 ネット

皆さま方にご利用いただきました「かながわ得割ネット」のホームページを3月末で閉鎖することになりました。この間、ご利用をいただき感謝いたします。

正解者の中から抽選で10名の方に図書カード(1,000円)を進呈いたします。

下に並んだ2枚の絵を見比べて違っている箇所を8個探してください。(画:西澤 修氏)

8
個
の
ま
ち
が
い
さ
が
し



【応募方法】

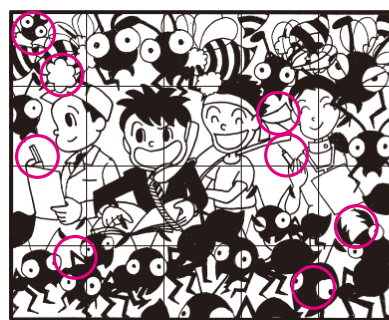
※同じマスに複数のまちがいがある場合もあります。

- 1 まちがいさがしの回答(8個)。まちがっている箇所のマスの座標をご記入ください。
単独マスの座標の場合…英字と数字(A-1、B-2等)
複数のマスの座標にまたがる場合…複数の英字と数字(A・B-1、C・D-5等)、もしくは、英字と複数の数字(B-1・2、C-3・4等)
- 2 住所、氏名、勤務先を明記の上、ご応募ください。
- 3 応募には「かながわ労福協」1月号に対するご感想、ご意見を必ずご記入ください。
- 4 応募は、ホームページの応募欄、メールまたはFAX、ハガキでお送りください。
※メールの件名には【クイズ応募】と入力してください。
- 5 当選発表は図書券の発送をもってかえさせていただきます。
- 6 締切 2023年2月28日(火)

【宛先】

〒231-0026 横浜市中区寿町1-4 かながわ労働プラザ5F
 神奈川県労働福祉協会 編集委員会あて メール: rofuku@kanagawarofukukyo.com
 FAX: 045-227-6291

前回の正解



読者のお便り

○11月のかながわ労福協の表紙を見てびっくり! 以前行ったことのある、成就院からの由比ヶ浜を見た景色と全く同じでした。フードドライブも知っていますし、知人は金沢区にある事務所までに取りに行くとの事です。このような取り組みも、出来ることを知り、心強く思っております!(横浜市磯子区・K様)

○クイズに初めて応募させていただきます。息子と二人で間違い探しをワクワクしながらチャレンジしました。全問正解かドキドキです。(横浜市青葉区・M様)

○10月からの最低賃金が明記されていたのが情報として自分も活用できそうで良かった。本年度もJP労組では、お米一合運動・フードドライブへの寄付活動を積極的に展開してまいりたいと思います。(横須賀市・S様)

編集室より

「かながわ労福協」をご愛読いただき、ありがとうございます。今号は、今までのお送り先に加え、連合神奈川の機関紙「CURRENT(カレント)」と共にお送りさせていただきました。本機関紙のお問い合わせなどにつきましては、神奈川県労働者福祉協議会(TEL 045-227-6290)へお願いします。

神奈川ぶらり散歩

～横浜の中心街から身近な名所「三溪園」をぶらり散歩～

横浜で、製糸・生糸貿易により財を成した実業家「原三溪」が、東京湾に面した谷あいの地に造り上げた「三溪園」。広大な日本庭園は、京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置され、四季折々の自然と調和した景観が見どころです。

天気の良い休日に、ゆったりした「ぶらり散歩」が楽しめます。



旧燈明寺三重塔

1457年建立で、三溪園へは1914年に京都・木津川市の燈明寺から移築され、三溪園を象徴する存在となっています。



旧矢筈原家住宅

飛騨白川郷の入母屋合掌造りの民家で、1960年に三溪園に移築されました。



旧燈明寺本堂

室町時代の建物で、三重塔が移築されていた縁により三溪園に寄贈され、1987年に移築が完了しました。

横笛庵



旧東慶寺仏殿

縁切寺・駆け込み寺の名で知られる鎌倉・東慶寺にあった禅宗様の建物で、江戸時代の初めごろに造られたものと考えられています。1907年に三溪園に移築されました。



鶴翔閣



大きな規模を誇り、その名称は鶴が飛翔する印象の外観に由来するといわれています。1902年に原三溪が自らの住まいとして建て、横山大観や前田青雨といった日本画家たちが集い、文化サロンとしての役割も果たしました。

臨春閣

1649年に建てられた、和歌山県岩出市の紀州徳川家の別荘・巖出御殿と考えられています。1906年に原三溪が譲り受け、11年をかけて念入りに配置を吟味し、1917年に移築が完了しました。

聴秋閣

徳川家光の上洛に際し、1623年二条城内に建てられ、春日局の嫁ぎ先の稲葉家の江戸屋敷に伝えられていました。三溪園への移築は1922年で、これをもって三溪園は完成となりました。



旧天瑞寺寿塔覆堂

1591年豊臣秀吉が、病氣から快復した母・大政所の長寿を祈って建てた、生前墓の寿塔を覆っていた建物です。1905年、移築されました。



天授院

鎌倉建長寺近くにあった心平寺地藏堂。1916年に移築され、原家の持仏堂として用いられました。天授院とは、三溪の先代、原家初代・善三郎の法号です。



横浜の名所「三溪園」

三溪園は、明治から大正にかけて製糸・生糸貿易により財を成した横浜の実業家原三溪（本名富太郎）が、東京湾に面した「三之谷」と呼ばれる谷あいの地に造り上げた、広さ175,000㎡（53,000坪）の日本庭園です。明治39年に一般に公開された外苑と三溪が私邸としていた内苑の2つの庭園からなり、17棟の歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置され、自然と調和した景観となっています。

利用案内

【開園時間】 9時～17時（入園は閉園の30分前まで）

【休園日】 年末

【入園料】 大人（高校生以上）700円
こども（小学生・中学生）200円
横浜市内在住65歳以上200円
※市発行の「濱ともカード」をご提示ください。

【電話】 045 (621) 0635 (代表) / 045 (621) 6343

【アクセス】 横浜駅東口（40分）・桜木町駅（28分）・根岸駅（10分）より横浜市営バスが運行しています。

※当機関誌作成にあたり、三溪園保勝会より写真等をご提供いただきました。